

努力賞

ねこから学んだ私の生き方

荒川区立第六日暮里小学校 六年

加藤 綾根

柳田先生こんにちは。柳田先生は『生きる』と
いうことについて考えたことがありますか。

この本の主人公のねこは一〇〇万回生きて一〇
〇万回死にました。

いろいろな人に飼われ、愛されていたねこがな
ぜ生き返ったのか、私は考えました。私は、この
ねこは生き方に満足できなかったのではないかと
思います。誰のねこであっても、その人たちが嫌
いで自分が大好きでどんなに愛されても満足でき
なかつたから生き返ったのだと私は考えました。
私も全てが人に決められた人生であつたらそこか

ら逃げだして、別の人生を歩みたいと思うからで
す。

そして、白いねこと過ごした後生き返らなかつ
たのは白いねこと会って、自分より好きな人がで
きて、毎日が充実していて、自分の生き方に満足
したから、生き返ることがなかつたんだと思いま
す。

私はこの本を読んで『生きる』とは、人に決め
られた人生ではなく、自分で決めた人生を歩むこ
とではないかと思いました。

『生きる』ことについて先生の考えを教えて下
さい。